

令和7年度 第2回沖縄県内水面漁場管理委員会議事録

日時 令和8年3月17日（金）
午後 14時00分～14時25分
場所 沖縄県庁 10階水産課内会議テーブル

出席者

委員 8名

(会場参加)

金城 政達 委員 伊波 實 委員

(WEB参加)

立原 一憲 委員 古谷 千佳子 委員 仲村 直 委員

津波古 優子 委員 宮良 工 委員 山川 彩子 委員

事務局職員 3名

井上 顕 (事務局長) 本永 文彦 (主任書記)

米丸 浩平 (主任書記)

○事務局（井上） それでは、ただいまより令和7年度第2回沖縄県内水面漁場管理委員会を開催いたします。

本日の出席状況ですが、会場には、金城委員、伊波委員の2名、ウェブでは、立原会長、山川委員、津波古委員、中村委員、古谷委員、宮良委員の6名にご参加いただいておりますので、委員定数8名に対して全員のご出席があり、本日の委員会は成立しております。

それでは、本委員会の議事の進行につきましては、沖縄県内水面漁場管理委員会運営等規程第6条により、会議の議長は会長があたると規定されております。

以後の会議の進行を立原会長、よろしくごお願い致します。

○立原会長 皆さんこんにちは。ずいぶん久しぶりの会議になります。

最初に議事録署名人ですけども、伊波委員と山川委員にお願いしたいと思います。よろしくご願います。

【第1号議案 公文書管理規程の制定について】

○立原会長 それでは早速、議事に入りたいと思います。

まずは第1号議案として、公文書管理規程の制定についてということで、事務局の方で説明をお願いいたします。

○事務局（米丸） それでは事務局からご説明いたします。第1号議案の資料をご覧下さい。

令和8年4月1日から施行される沖縄県公文書等の管理に関する条例では、第10条において実施機関ごとに公文書管理規程を設け、これを公表しなければならないとされております。

つきましては、知事部局の沖縄県公文書管理規程（令和7年沖縄県規則第19号）に準じ、当委員会においても公文書管理規程案を作成しましたので、この制定についてご審議願います。

こちらは、単純に知事部局に準じるとできればよかったですのですが、ある程度網羅的に定めるよう指示がありましたので、4ページから62ページまで、沖縄県の公文書管理規程と比較する形で規程を添付しています。

こちらを説明する時間はありませんので、2ページで簡潔に説明いたします。まず、読み替えですが、知事部局を委員会に、部局の職員を事務局の職員に、また、総括文書管理者から文書管理主任まで知事部局では部局長から課長、班長まで様々な役職を充てていますが、当事務局では事務局長以外は主任書記や書記しかいないため、文書管理者にまとめ、事務局長を充てています。

次に文書の種類ですが、委員会に条例や規則、訓令の制定権限はなく、指令、達、諮問文書の利用はないことから、削除しています。

その他、様々ありますが、最後に55ページをご覧ください。第9章の雑則に第30条と31条がありますが、この告示に定めるものほかは、県公文書管理規程の例によるか、文書管理者、事務局長が別に定めることとなっています。

また、法規部署から、他の行政委員会の規程と見比べて別表の並びを入れ替える等の修正はあり得ると伺っておりますが、軽微な修正として事務局に一任いただけますと幸いです。

事務局からの説明は以上です。ご審議のほど、よろしく願います。

○立原会長 はい、ありがとうございます。なかなか意見と言われても難しいと思うんですけど、何かありますでしょうか。

法規の問題ですので、お任せということでもよろしいですか。

（はいという声）

○立原会長 では、任せると言うことで、よろしく願います。

○事務局（米丸） ありがとうございます。

- 宮良委員 すいません。
- 立原会長 宮良委員どうぞ。
- 宮良委員 あの、メールで1枚目だけ印刷して貰えばいいですよと言われたんですが。
- 事務局（米丸） そうですね、1枚目と2枚目だったかな。その他は、興味があれば読んでいただければと思います。
- 宮良委員 承知しました。以上です。
- 立原会長 はい。よろしいですかね。じゃあ、第1号議案はこれで終わりにしたいと思います。

【報告事項1 リュウキュウアユの採捕実績報告について】

- 立原会長 次に報告事項ですけども、リュウキュウアユの採捕実績報告について、事務局の方からお願いいたします。
- 事務局（米丸） はい。事務局からご説明いたします。報告事項1の資料をご覧ください。また、直前の送付となってしまって申し訳ないんですけれども、本日、追加資料をお送りしておりますけれども、こちらお手元で確認できますでしょうか。

（大丈夫ですとの声）

- 事務局（米丸） 大丈夫ですかね。はい。
- それでは、リュウキュウアユの採捕実績報告について、下記のとおり提出がありましたので、ご報告いたします。
- 表に掲載のとおりですが、環境サイエンス株式会社から、米軍訓練場内での生物相調査として、混獲想定調査でしたが、合計154尾の採捕があったとの報告でした。記載の採捕場所は申請時の予定場所ですので、ご注意下さい。
- 2ページに報告書がありますので、簡単にご説明します。採捕した場所は安波の大川、安波川、床川、荒川ダム及び新川川とのことですが、こちらは調査地点でして、うち安波の大川、床川で採捕されたとのこと。用いた漁具は、タモ網、サーバーネット、網カゴ、カニ籠となっておりますが、この計画でしたが、実際はタモ網による採捕調査と、NTA4では潜水調査を行って目視で確認をしたとのこと。それで、この154尾なんですけど、実際に採捕した数ではなく、採捕・目視で確認した個体の合計数を記載しているとのこと。また、タモ網で採捕された個体はその場で全て放流されていると伺っています。追加でお送りした資料に魚類調査地点と調査方法の詳細がありますのでご確認ください。1ページや5ページの青丸が調査地点です。

資料に戻って3ページに、調査区域全域の地図がありますので、ご確認ください。今回、委員会指示の承認に基づき、今回はNTA4と5について報告頂いていますが、NTA1～3でも調査予定と伺っています。こちらは承認に係る報告ではありませんが、とりまとめ次第、提供頂けるようお願いしていますので、提供があれば、ご報告いたします。

4ページからNTA4の報告ですが、7ページの期間調査を実施しており、8ページの一番下にあるとおり、春、夏、秋に目視にて確認したとのこと。9ページの赤丸が確認した地点、河川名で言うと床川で、数字が確認した尾数とのこと。

10ページからNTA5の報告ですが、12ページの期間調査を実施し、14ページのとおり、夏に8個体確認した地点は、15ページの赤丸の地点、河川名で言うと安波の大川になります。

以前からお話は伺っていましたが、確かに米軍訓練区域内にリュウキュウアユが生息していることが確認できたかと思えます。

事務局からのご報告は以上です。よろしくお願いたします。

○立原会長 はい。ありがとうございます。今の報告に関して、何か質問ありますでしょうか。

私の方から一ついいですか。

○事務局（米丸） はい。はいどうぞ。

○立原会長 これ、許可を出したものに対する報告書ですよ。

○事務局（米丸） そうです。

○立原会長 これ例えば、目視と採集を混ぜてしまうのはまずいんですよ。採集した個体数に分けてもらわないと、採集するという行為に対して承認を出しているの。

例えばこれ、154尾のうち、150尾は捕って、4尾は目視って言われるのと、逆は全く意味が違うので。例えばですね、捕った数にもよるんですけど、私たちが調査に入って上限20尾ってなってるんですよ。1回の調査で捕って良いのが。もし、それをはるかに超えるような数を捕っていたとするとですね、この方法では絶対に捕れないはずなんですよ。

このカゴでは全く入らなくて、捕ったとしてもタモ網なんですけど、タモ網で100尾も捕るって多分有り得ないことなので、何か違うことをやってるんだろうなって思います。ちょっと捕った数を聞かないとわからないんですけど。

それと、春夏秋冬で調査して目視できているってなっていて、点が3つあって各々に数が出てきてるんですけども、何か合わないんですよ。例えば、春夏秋で目視したら、春夏秋の地図が出てきて、各々の数が出

てこないとおかしいですよ。

○事務局（米丸） そうですね。

○立原会長 だからちょっとこれ、何を報告されているのかがよくわからなくて、ちょっと報告書としてはまずいんじゃないかなと思うんですけど。

○事務局（米丸） わかりました。すいません、だいぶ抜粋されて出されているとは思いますが、このNTA4と5に関しても、詳細な採捕状況がわかるデータを求めたいと思います。手落ちで申し訳ありません。

○立原会長 例えば、その数字も合わないんですよ。154っていうのが、どこから出て来ているのか。

○事務局（米丸） 154ですか。

○立原会長 55と61と30を足したら、154じゃないですよ。

○事務局（米丸） 2ページに数がありますけれども、NTA4の方で146尾、この3つの数字を足して146尾になりまして、NTA5の方で8尾採捕がありますので、合わせて154尾になります。

ただ、すいません。目視で確認したものも入っているっていうのに、今日気付かしまして、細かい情報はないんですが、確認次第、また共有させていただきたいと思います。

○立原会長 この30とか55っていうのが、春夏秋を合わせた数ですかね。

○事務局（米丸） そうなると思いますね。

○立原会長 そこも分けてもらえていないので。分けてないですよ。累積してるってことですよ、多分。

○事務局（米丸） そうなるかと思いますが。はい。

○立原会長 なんかちょっと、こういう報告をクライアントに上げるわけではないので、これもちょっと、結構あやしい報告書ですよ。

○事務局（米丸） 恐らく、右側に小さいページ数が入ってますけど、170ページ以上あるような報告書だと思いますので、できる限り提供させていただきたいと思います。

○立原会長 なんかちょっと、アユのところだけでも。

○事務局（米丸） そうですね。

○立原会長 はい、大丈夫ですか。何かありますか。

なければ私の方から、ちょっと今のアユの状況について、お話ししておきたいんですけども。

実は去年、リュウキュウアユがほとんどいなくなりました。何が起きたのか全くわからなくて、コロナで私が調査に入ってなくて、そのまま

私が退職して、去年、調査会社が入ったんですけれども、サンヌマタで最大が 100 ぐらい、それで産卵期に親が 1 個体もいないって言い出して、どうなったのかが全くわからなくて。

親がほとんど見つからなくても、恐らく、産卵はどこかで行われてることが多いので、その後、継続して遡上を見てもらってるんですけども、3月時点でサンヌマタ川の遡上数が 10 なんですよ。何が起きたのかが全くわからない状態で、個体数調査をやらなくなったこの何年かの間に、何かが起きていたんだと思うんですけども。

この調査報告をちょっとちゃんと確認したいなと思ったのは、それもあって。サンヌマタ、福地しかやってないので、他の河川はどうなってるのかなと思ったんですけど、ぱっと見た感じ、他も少なそうですね。これが例えば、3ヶ月合計の目視だとしたら、相当個体数が少ないっていうことになりますから。何が起きているのか、ちょっとわからなくて、有り得そうなことをどんどん解析させてるんですけど、今のところ、一気にこんなに減ってしまった原因が全くわからない状態です。

それまでコンスタントに 2 万か 3 万はいたので、サンヌマタだけで。ちょっと見ないうちに何かが起きたとしか思えなくて、それが自然状態の変化なのか、特殊な何かが起きたのかというのは、ちょっと今のところわからないというような、リュウキュウアユの現状です。

そういう意味でも、このデータ、ちゃんと出させた方がいいと思います。

○事務局（米丸） はい、わかりました。

○立原会長 他、何かありますでしょうか。

ないようでしたら、議事と報告はこれで終わりということで閉めたいと思います。では、事務局の方にお返しします。

○事務局（井上） はい。ありがとうございます。

立原会長、議事の進行ありがとうございました。また、委員の皆様も年度末のお忙しいところ、ご参加いただきありがとうございました。

本日は令和 7 年度最後の委員会になりますが、事務局の人事異動について、ご案内させていただきたいと思います。異動になるのは、井上と中田と米丸と本永になります。井上と米丸、本永の方から、一言ご挨拶をさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○事務局（米丸） はい。先に米丸からご挨拶いたします。

お疲れ様でした。水産課では 5 年間、事務局として務めさせていただきまして、途中、加藤とか秋田とかが主担当ではあったんですが、最後の 2 年間、内水面の主担当として務めさせていただきました。

なかなか内水面関係は難しいところもあり、手も回らないところも多いんですけども、できる限りのことは今後もできればなと思ってます。

異動先が北部で、本部駐在の普及員をやらせてもらいますので、伊波委員や金城委員とは近くなりますので、また何かありましたら、よろしくをお願いします。委員会にも、ぜひ一緒に参加できればと思います。

北部では今、内水面っていうわけでもないんですが、結構、沿岸ではアオウミガメの食害とかもあるのかもしれないですけど、特に陸域からの赤土っていうのが今、問題になっておまして。特に東村とかですかね、その辺はやはり内水面の環境改善も必要かと思いますので、皆様のお知恵を拝借できればと思いますので、事務局ではなくなりますが、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。じゃあ、次は本永さん。

○事務局（本永） はい。事務局の本永です。あまりこの委員会には出席できなくて、申し訳なかったです。

私とこの内水面漁場管理委員会との関わりは、平成8年頃に、リュウキュウアユに関する最初の委員会指示を作るときの担当をしておりました。当時の上司とかも当然、皆さんもう定年退職されて、リュウキュウアユの委員会指示発足当時の担当者は、私が最後です。その私も、今年3月に退職するので、あとはもう若い人たちが関わっていくかたちになります。ええと、30年近く、ちょっとリュウキュウアユ、ほとんどもう遠くから見るとかたちになったんですけども。また最近こうして、アユにちょっと近づいてきたんですけども。もう、これもそろそろ終わりかなという話を聞いてます。

長らくありがとうございました。以上です。

○事務局（井上） はい。米丸さん、本永さん、ありがとうございました。

井上の方はですね、これまで5年間、水産課の方にいまして、主幹で1年、班長で3年させてもらいました。

リュウキュウアユという、ちょっと難しいテーマにおいてですね、この3年間は大きく内水面としてのかたちが変わったような形になります。立原先生がいてくださってですね、いろんな整理もできていってるんですけども、ちょっとこちらの方が少し望むようなところで進めて行けていないところはですね、今後、内水面の皆さんのお力をいただきながら、落とすところを考えていきたいというふうに思っております。

3年間でしたけども、主幹もあわせて4年間ですけども、ありがとうございました。次は石垣の方に行きます。試験場の石垣支所の方で、生産現場や資源管理関係のお仕事をする形になりますけど、またどこかでお力になれるようなことがあれば、ぜひ言っていたらと、頑張っ

いきたいと思います。本日はありがとうございました。

進めます。なお、新任予定者は、まだ現在決まってないところがありますので、4月以降にご案内させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、事務局から、次回の日程についてアナウンスいたします。令和8年度第1回委員会は日程未定ですが、追って調整させていただきます。例年どおりなら、9月頃に中央省庁への提案事項の検討がある見込みです。その時に合わせてご案内したいと思います。次回もウェブ併用とした開催を予定していますので、ご参加よろしくお願いいたします。

最後に質問や確認事項がございましたら、発言をお願いいたします。

○立原会長 付帯決議言い忘れてました。一応させていただきます。

本日の議決事項中、内容の変更を伴わない簡単な文言や字句の修正については、事務局に一任するってことでお願いいたします。

皆さん本当にお疲れ様でした。他の部署に行っても頑張ってください。

○事務局（米丸） はい。北部に近づきますので、これからもよろしくお願いいたします。

○事務局（井上） よろしくお願いいたします。

○立原会長 井上さん、朋紘も石垣らしいので。

○事務局（井上） そうですね。わかりました。一緒に遊んでいきます。

以上をもちまして、内水面管理委員会の方を終了させていただきたいと思います。ウェブ参加の委員の皆様も、ご退席いただいて構いません。

次年度もよろしくお願いいたします。どうもお疲れ様でした。

（お疲れ様でした）